

みんなの人権

みなさんも一緒に考えませんか

医療従事者への感謝

町内中学生

新型コロナウイルスが流行している今、深刻な風評被害が発生しているそう。院内感染が起きた診療所には嫌がらせの電話が相次ぎ、職員の感染が判明した役所には、「公務員なんだから名前を明かせ」などと迫る電話が何度もかかっているそう。また、医療従事者の子どもが保育園に通えなくなる事態も起きていると新聞で知った。私は、差別や偏見が関係者を追い詰める風評被害は、絶対に起こってはいけないと思った。

なかには、病院に向かって拍手をしたり、弁当を無料で提供したりしている店などもあるのだが、医療従事者への差別も決して少なくない。感染への恐怖におびえ、きつと今それぞれが思い悩んでいると思う。でも、それは医療従事者の方々も同じなはずだ。感染を恐れながらも予防や消毒を徹底し、患者のために働いてくれている医療従事者の方々には感謝をしなければならぬと思った。

感染した人が悪いのではなく、悪いのはウイルスだ。そんな今だからこそ、みんなで力を合わせて助け合っていかなければならないと私は思う。だからといって、今自分ができることというのは限られているが、外出は必要最小限にしたり、医療従事者の方々への感謝を忘れないようにしていきたいと思った。このような小さなことでも一人一人が意識すれば、差別や偏見もなくなるはずだ。新型コロナウイルスもおさまるかもしれない。まずは、自分からという気持ちでしっかりと自分がしていることを見直して、行動していきたいと思った。

現在、世界は新型コロナウイルスで大変な状況だ。今だからこそ、一人一人ができることを考えて、人のためになれるような行動をしていくべきだと思う。そして、これから世界が日常生活に戻ったとき、スパーが開いていること、生徒全員で学校に登校できること、友だちとたくさん話せることなどはあたり前ではなく、しっかりと感謝して生活していきたいと思った。

※原文を一部修正しています。

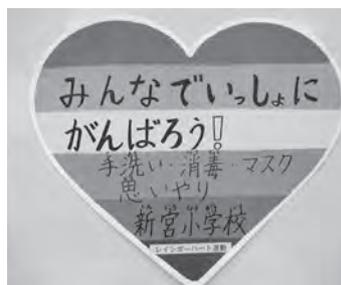
問い合わせ先 役場人権推進室(総務課内) ☎963-1730(直)

コロナ禍だからこそ、工夫と思いやりを大切に

新型コロナウイルス感染拡大により、慣れない生活や教育環境に不安を感じるなか、町内の各学校では、子どもたちがさまざまな工夫と思いやりを大切にした取り組みを行っています。

感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、自分ももし感染したとき友だちにどうしてほしいかなど、想像力を豊かにして考え、自分たちにできることを確認しあい、それを実行しています。

工夫を重ねながら、みんなが思いやりをもって過ごしていきましょう。



▲新宮小学校では、児童委員会活動で人権ボランティア委員会が「レインボーハート運動」を立ち上げ「みんなでいっしょにがんばろう!」を合い言葉にコロナ禍を乗り越えようと取り組んでいます



▲新宮東中学校では、手洗い場で密になることを防ぐため、鏡に啓発のイラスト・メッセージが貼られています



▲新宮中学校では、感染予防のための手洗いなどを呼びかけるポスターなどが掲示されています